

平成18年度

事業報告書

社会福祉法人 ノマド福祉会

目 次

法人全体（小樽・発寒共通）

法人本部	1
（1）概況	1
（2）理事会開催状況	1
（3）評議員開催状況	2
（4）役員研修	3
（5）広報活動事業	3
（6）監査等の実施	4
（7）施設内研修	5
（8）防火管理等	6

小樽部門

I 事業報告	
1 総 括	7
2 職 員 状 況	8
3 職 員 会 議	9
4 職 員 研 修	11
5 苦 情 受 付 状 況	14
II 事業別事業報告	
1 特別養護老人ホーム	16
2 ショートステイ事業	24
3 デイサービス併設型	26
4 デイサービス認知症対応型	32
5 ホームヘルプサービス事業	37
6 在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所	39
7 ケアハウス	42
8 訪問看護事業	49
9 グループホーム・生活支援ハウス	50
10 地域交流事業	63

発寒部門

I 事業報告	
1 総 括	66
2 職 員 状 況	67
3 職 員 会 議	68
4 職 員 研 修	70
5 苦 情 受 付 状 況	71
II 事業別事業報告	
1 特別養護老人ホーム	72
2 ショートステイ事業	79
3 デイサービス併設型・認知症型	81
4 居宅介護支援事業所	86

I 事業報告

1 総 括

平成18年4月に行なわれた介護報酬の改正は、17年10月の改正に続き、当法人の経営状況や人員配置、さらに業務面に大変厳しい影響を与えた。

特別養護老人ホームにおいては、入所者の重度化や看取りに関する体制作り、身体拘束廃止の取り組み、法人全体としても、事故防止、感染予防、個人情報保護等のマニュアル作りなど、あらためて運営基準の中で求められた事項への対応に迫られた1年であった。

その一方で、デイサービスセンターでは「大規模事業所減算」という、前年度の利用者数が多いことに対する減算が実施され、稼働率の低下と合わせてデイサービスセンターの収支状況が悪化することとなった。介護保険制度が、各サービスを大規模から小規模へ移行していく目標を実現するための措置であろうが、事業所にとっては、それまでの「ニーズに対応するべく努力をしてきた」体制から、まさに「はしごをはずされた」状況である。

また、平成18年4月の大きな改正点と言える「地域密着型サービス」の創設により、運営指導がそれまでの北海道(後志支庁)から小樽市へと移行したため、当初は運営基準の解釈などをめぐって混乱が見られたが、グループホーム及び認知症対応型デイサービスともに、稼働率も上昇し安定した運営を行なっている。特に、認知症対応型デイサービスは、平成19年1月より、敷地内に事業所を増設し、あらたに小規模デイサービスとして運営を開始した結果、認知症ケアにおいても効果が現れ、利用者も増加してきている。

平成19年1月からは、小樽市において予防給付がスタートし、要支援認定の増加や地域包括支援センターへの業務移行などにより、居宅介護支援事業所や、軽度者が多いヘルパーステーションやデイサービスセンターの稼働が徐々に低下してきており、当法人の今後の事業運営を見直していく必要があると言える。

また、平成9年8月の開設時から、小樽市より業務委託を受けていた在宅介護支援センターは、地域包括支援センターへの業務移行により平成19年3月末で廃止とした。さらに、訪問看護ステーションは、看護師の不足により、人員基準を満たすことができないため休止とした。

平成18年9月の西区発寒の施設開設に伴い、小樽地区の特養・デイサービス・ケアハウス・生活支援ハウス・グループホームなども施設長・管理者が交替し、職員の入れ替えも多かったため、利用者・家族に不安を与えた面もあったと思われるが、大きな混乱もなく18年度を終えることができた。

さらに、ホームヘルパー養成講座(2級)を初めて開催し、12名の修了者を送り出すことができ、半数近くが法人内の事業所に就職できたことは、大きな成果であった。

今後は、介護保険制度に依存した事業のリスクを最小限にするため、様々な取り組みを検討していく必要があると考える。

2 職員状況

3 職員会議

チームアプローチによる総合的ケアの推進と、部署及び職種間の緊密で円滑な連携を実現するため、必要な以下の会議を適宜開催し、職員相互の理解と情報の共有化を図った。

(1) 施設全般

- 1) **朝礼**(施設長、事務・看護・介護職員、ケアマネージャー、ケアハウス職員)
平日毎朝 8:30～ 10 分間 247回実施
- 2) **幹部会議**(理事長、法人役員職員)
毎週月曜 13:00～ 1 時間 48回実施
- 3) **職員全体会議**(全職種職員)
年2回以上 19:00～ 1 時間 3回実施
- 4) **給食会議**(施設長、厨房調理師、委託先職員、給食委員会メンバー)
毎月最終木曜 16:00～ 30 分間 8回実施
- 5) **ボランティアミーティング**(施設長、ソーシャルワーカー、看護・介護職員、ボランティア)
毎月1回 13:30～ 1 時間 10回実施

(2) 特別養護老人ホーム

- 1) **朝・タミーティング**(看護・介護職員ほか)
毎日 9:45～10 分間 17:00～30 分間 730回実施
- 2) **ケアカンファレンス**(看護・介護職員、栄養士ほか)
毎週水曜・他随時 10:30～30 分間 114回実施
- 3) **リーダー会議**(介護職員)
毎月1回以上 19:00～ 1 時間 12回実施
- 4) **ホーム会議**(施設長、ソーシャルワーカー、看護・介護職員ほか)
不定期 1回実施
- 5) **入所判定会議**(統括施設長、施設長、介護課長、看護課長、ケアマネージャー)
適宜随時 27回実施
(入居判定基準に基づく判定会議：3回、特例入所・繰上入所判定会議：各12回)
- 6) **フロア会議**(看護・介護職員)
適宜随時／各階フロア 計18回実施
- 7) **運営会議**(施設長、看護主任、介護主任、介護主任補佐、ソーシャルワーカー)
適宜随時 12回実施
- 8) **学習委員会**(学習委員会メンバー)
適宜随時 3回実施
- 9) **業務委員会**(業務委員会メンバー)
毎月1回 12回実施
- 10) **事故防止委員会**(事故防止委員会メンバー)
適宜随時 12回実施
- 11) **月行事運営委員会**(各月行事委員会メンバー)
毎月1回以上 22回実施

(3) デイサービスセンター

- 1) 朝・タミーティング（デイサービスセンター職員）
実施日毎日 8:35～5分間 17:00～30分間 618回実施
- 2) ケアカンファレンス（デイサービスセンター職員）
毎月1～2回 17:30～1時間 20回実施
- 3) 利用開始判定会議（デイサービスセンター職員）
適宜随時 20回実施
- 4) 行事会議（デイサービスセンター職員）
月2回 24回実施
- 5) デイサービス会議（デイサービスセンター職員）
適宜随時 1回実施

(4) ホームヘルプサービス

- 1) ヘルパー会議（サービス提供責任者、ヘルパー職員）
毎月月末1回 17:30～1時間 12回実施

(5) ケアハウス

- 1) 朝・タミーティング（ケアハウス職員）
平日毎日 10:00～30分間 16:30～30分間 494回実施
- 2) 給食（ケアハウス職員）
毎月最終木曜 16:00～30分間 8回実施
- 3) 行事会議（ケアハウス職員）
毎月第1火曜日 10:30～1時間 12回実施
- 4) ケアカンファレンス（ケアハウス職員）
適宜随時 12回実施
- 5) 入所判定会議 5回実施

(6) グループホーム

- 1) ケアカンファレンス
毎月1～2回 18:00～2時間 62回実施
- 2) リーダー会議
概ね月1回 17:30～19:00 12回実施
- 3) ユニット会議
概ね月1回 18:00～19:00 15回実施
- 4) グループホーム会議
毎月1回 18:00～19:00 10回実施
- 5) 入所判定会議
適宜随時 8回実施
- 6) 行事会議 8回実施
- 7) 広報会議 12回実施

(7) 生活支援ハウス

1) 行事会議

8 回実施

2) 広報会議

12 回実施

4 職員研修

職員の資質向上、専門的知識の習得等を目的として、以下の外部研修に積極的に参加し、又、施設内においても以下のとおり自主研修を開催した。

(1) 施設外研修

開催年月日	研修内容	参加職種	参加人数
【ホーム】			
4/15	摂食・嚥下リハビリテーション 第6回北海道地区研修会	看護職員・ケアワーカー	2・2
5/17	新しい介護ナイトセミナー 第一回	ケアワーカー	2
5/21	ユニットケアやわかかりリーダー講座	ケアワーカー	2
6/21	新しい介護ナイトセミナー 第二回	ケアワーカー	2
7/3～7/7	看護管理者補佐研修会	看護職員	1
7/19	新しい介護ナイトセミナー 第三回	ケアワーカー	2
7/19～7/20	平成18年度 後志老人福祉施設協議会 給食担当職員研修会	栄養士	4
7/27	特定給食施設及び給食施設の栄養担当者会議	栄養士	2
8/26	車椅子不良姿勢を防ぐ座位調整方法と食事・排泄・入浴場面への活かし方	ケアワーカー	2
8/26～8/27	デイサービス介護予防「運動器の機能向上」従事者研修	機能訓練指導員	1
9/13～9/15	北海道看護協会 感染管理研修会	看護職員	1
10/16～10/17	平成18年度全国老人福祉施設研究会議	ソーシャルワーカー・他	1・2
11/10～11/11	社会福祉援助技術現場実習北海道ブロック研修協議会	ソーシャルワーカー	1
11/21～11/22	平成18年度後志老人福祉施設協議会直接処遇職員研修	ケアワーカー	1
11/30～12/5	北海道介護支援専門員実務従事者基礎研修	ケアワーカー	1
12/2	改正介護保険栄養ケア・マネジメント検証研修	栄養士	1
12/4～12/6	平成18年度ケアグレートアップセミナー	ケアワーカー	1
2/21～2/22	後志老人福祉施設協議会事務担当職員研修会	事務	1
3/20	身体拘束廃止推進委員研修会(初任者研修)	ケアワーカー	1

【デイサービス】			
5/17	新しい介護ナイトセミナー 第1回	ソーシャルワーカー・他	1・1
6/21	新しい介護ナイトセミナー 第2回	ソーシャルワーカー・他	1・1
7/19	新しい介護ナイトセミナー 第3回	ソーシャルワーカー・他	1・1
7/22	介護予防セミナー 効果的な運動器の機能向上を実践するために	看護職員	1
9/14～9/15	平成18年度デイサービスセンター職員 スキルアップセミナー	看護職員	1
9/20	新しい介護ナイトセミナー 第4回	ソーシャルワーカー・他	1・1
10/5～10/6	平成18年度後志老人福祉施設協議会直接処遇職員研修会	ソーシャルワーカー	1
10/13～10/14	平成18年度後志デイサービスセンター協議会職員研修会	ケアワーカー	1
10/16～10/17	平成18年度全国老人福祉施設研究会議	ケアワーカー	1
10/27～10/28	後志デイサービスセンター協議会職員研修会	ケアワーカー	1
【ケアハウス】			
10/5～10/6	平成18年度後志老人福祉施設協議会直接処遇職員研修会	ケアワーカー	1
11/21～11/22	平成18年度後志老人福祉施設協議会直接処遇職員研修	ソーシャルワーカー	1
【ホームヘルプサービス】			
11/22	平成18年度北海道ホームヘルプサービス協議会	ホームヘルパー	1
2/21	上級者ステップアップ研修	サービス提供責任者	1
【在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所】			
2/27	平成18年度北海道介護予防支援従事者研修プログラム	ケアマネージャー	2
3/7	地域ケアサービス事業者等技術育成講座	ケアマネージャー	2
【訪問看護】			
5/20	神経難病のリハビリテーション	看護職員	1
5/27	チーム医療支援セミナー	看護職員	1
【グループホーム】			
5/26～5/27	第1回北海道認知症対応型サービス事業管理者研修	施設長	1
5/21	ユニットケアやわかりリーダー講座	ケアワーカー	1
6/3	ボディランゲージ法によるコミュニケーションの実際 「平成18年度第3回研修会」	介護職員	1
6/17～6/18	高齢者の急変時の対応・早期発見のポイントセミナー	ケアワーカー	1
6/26～6/27	平成18年度第1回スタッフ研修会	介護職員	1
7/19～7/19	グループホーム介護 スタッフレベルアップ研修会	ケアワーカー	1
11/30	北海道グループホーム実践報告会	介護職員	2
11/30～12/5	北海道介護支援専門員実務従事者基礎研修	ケアワーカー	1
12/2	口腔機能向上のための介護予防研修会	ケアワーカー	1
12/5～12/6	平成18年度第4回スタッフ研修会	介護職員	2
2/5～2/9	平成18年度北海道認知症介護実践研修	ケアワーカー	1

2/20~2/21	平成 18 年度第 5 回スタッフ研修会	ケアワーカー・他	1・1
2/27	平成 18 年度北海道介護予防支援従事者研修プログラム	施設長	1
3/5	平成 18 年度北海道認知症介護実践研修	ケアワーカー	1
3/10	グループホームにおける福祉ターミナルケア研修会	施設長・他	1・1
3/20	身体拘束廃止推進委員研修会(初任者研修)	施設長	1
3/26	小樽市認知症高齢者グループホーム連絡協議会 「平成 18 年度第 3 回研修会」	ケアワーカー・他	1・2

(7) 施設内研修

開催年月日	研修内容	講師等	参加職種
【法人全体】 18. 4. 4~6	新採用者研修	施設内職員	ケアワーカー・ケアマネ・SW・栄養士 計22名
18. 6. 22	ホームヘルパー研修①	施設内職員	ヘルパー 計15名
18. 7. 19	フォローアップ研修①	施設内職員	ケアワーカー・看護師・SW・ケアマネ・ヘルパー 計10名
	はっさむはる開設時研修	施設内職員	ケアワーカー・看護師・SW・栄養士・PT・事務 計56名
18. 9. 19	ホームヘルパー研修②	施設内職員	ヘルパー 計16名
18. 10. 17	ホームヘルパー研修③	施設内職員	ヘルパー 計18名
18. 10. 19	フォローアップ研修②	施設内職員	ケアワーカー・看護師・ケアマネ・SW・ヘルパー 計14名
18. 11. 12	ホームヘルパー研修④	施設内職員	ヘルパー 計13名
18. 11. 21	ホームヘルパー研修⑤	施設内職員	ヘルパー 計16名
18. 11. 22	採用者研修①	施設内職員	ケアワーカー・看護師・ヘルパー 計11名
18. 12. 6	認知症ケア研修	施設内職員	ケアワーカー・SW 計17名
18. 12. 19	ホームヘルパー研修⑥	施設内職員	ヘルパー 計17名
18. 12. 22	初任者研修①	施設内職員	ケアワーカー・SW・ヘルパー・看護師 計17名
19. 1. 16	ホームヘルパー研修⑦	施設内職員	ヘルパー 計16名
19. 1. 24	主任補佐・リーダー研修	施設内職員	ケアワーカー・ケアマネ・看護師 計11名
19. 1. 31	主任研修	施設内職員	ケアワーカー・ヘルパー・SW 計8名
19. 2. 6	ホームヘルパー研修⑧	施設内職員	ヘルパー 計15名
19. 2. 6	看取りに関する研修	施設内職員	ケアワーカー・ヘルパー・SW・看護師・ケアマネ 計14名
19. 3. 8	ホームヘルパー研修⑨	施設内職員	ヘルパー 計17名
19. 3. 26	ホームヘルパー研修⑩	施設内職員	ヘルパー 計17名

(8) 防 火 管 理 等

(1) 避難訓練及び消火訓練の実施

小樽	1回目	平成18年	7月25日実施		
				夜間想定通報連絡・避難誘導・消火訓練	名参加
				特養・ケアハウス	11名参加
				グループホーム・生活支援ハウス	18名参加
				守衛	3名参加
	2回目	平成19年	1月22日実施		
				日中想定通報連絡・避難誘導	
				特養・ケアハウス	11名参加
				グループホーム・生活支援ハウス	18名参加
発寒	1回目	平成18年	12月15日実施		
				夜間想定通報・避難誘導訓練	
				特養	20名参加

(2) 消防用設備点検の実施

小樽	平成18年	9月8日実施	委託先	ホーチキシステム(株)
	内容	消火器具、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯・誘導標識、非常電源(自家発電設備・蓄電池設備)、防火扉設備・防火シャッター、配線点検		
発寒	平成19年	1月25日実施	委託先	ホーチキシステム(株)
	内容	消火器具、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯・誘導標識、非常電源(自家発電設備・蓄電池設備)、防火扉設備・防火シャッター、配線点検		

II 事業別事業報告

1 法人本部

1 特別養護老人ホーム

2 ショートステイ事業

3 デイサービス併設型

4 デイサービス認知症対応型

5 ホームヘルプサービス事業

6 在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所

7 ケアハウス

8 訪問看護事業

9 グループホーム・生活支援ハウス

10 地域交流事業

法人本部

(1) 概況

理事会及び評議員会については、計各7回と6回開催され、新たな施設整備事業に係る審議をはじめとして、介護保険事業、地域福祉事業等各般の問題について、活発な議論が交わされた。

その他適正な介護保険サービスの提供及び地域福祉事業の推進のために必要な研修事業、広報事業等を適宜実施した。

(2) 理事会開催状況

区分	開催 年月日	出席者数		欠席 者数	議 事 内 容
		理事	監事		
理 事 会	H18.4.5	10	2	0	特殊入浴装置売買契約の締結について 理事長の選任について 個人情報保護規定の制定について
	H18.5.26	7	0	5	札幌市西区発寒特別養護老人ホーム備品入札結果について 札幌市西区発寒特別養護老人ホームの清掃・警備業務委託について 平成17年度事業報告（案）について 平成17年度決算報告（案）について 決算監査報告について 定款変更について 札幌市西区発寒特別養護老人ホーム備品購入について 規程の改定（案）について 特別養護老人ホームはる冷房設備工事契約について 施設長の選任について
	H18.7.18	7	1	4	定款変更について 諸規程の改定及び西区はっさむはるの各種運営規程の制定について 評議員の欠員補充の選任について 札幌市西区特養の建物登記に伴う登録免許税非課税措置の申請について
	H18.9.13	7	2	3	特別養護老人ホームはっさむはる建設工事落成報告について 第1四半期会計監査報告について 特別養護老人ホームはっさむはる建築資金等に係る借入について 認知症対応型通所介護事業所の増築・移転について
	H18.11.16	8	0	4	第2四半期内部監査報告について 補正予算（案）について 運転資金の借入について 給与規程の一部改定について 施設長の選任について

H19. 2.22	10	2	2	第3四半期会計監査報告について 福祉有償運送等に関する経過報告について 在宅介護支援センターはるの廃止について 訪問看護ステーションはるの休止について 認知症対応型デイサービスはっさむはるの休止について 定款変更について 介護報酬債権譲渡基本契約について
H19.3.28	8	2	2	給与規程一部改定について 平成18年度一般会計補正予算（案）について 平成18年度特別会計補正予算（案）について 平成19年度事業計画（案）について 平成19年度一般会計予算（案）について 平成19年度特別会計予算（案）について 評議員の改選について

(3) 評議員会開催状況

区分	開催年月日	出席者数		欠席者数	議事内容
		評議員	監事		
評議員会	H18. 5.26	12	0	11	理事長の選任結果について 札幌市西区発寒特別養護老人ホーム備品入札結果について 札幌市西区発寒特別養護老人ホームの清掃・警備業務委託について 平成17年度事業報告（案）について 平成17年度収支決算報告（案）について 平成17年度事業決算監査報告について 定款変更について 札幌市西区発寒特別養護老人ホーム備品購入について
	H18. 7.18	15	1	7	評議員の欠員補充の選任について 定款変更について 諸規程の改定及び西区はっさむはるの各種運営規程の制定について 札幌市西区特養の建物登記に伴う登録免許税非課税措置の申請について
	H18. 9.13	15	2	8	特別養護老人ホームはっさむはるの建設工事落成報告について 第1四半期会計監査報告について
	H18. 11.16	16	0	9	特別養護老人ホームはっさむはるの建築資金等に係る借入について 認知症対応型通所介護事業所の増築・移転について 第2四半期会計監査報告について 施設長の選任について

H19.2.22	15	1	9	補正予算(案)について 運転資金等の借入について 給与規程の一部改定について 第3四半期会計監査報告について 福祉有償運送等に関する経過報告について 介護報酬債権譲渡基本契約について
H19.3.28	12	0	13	給与規程の一部改定について 平成18年度一般会計補正予算(案)について 平成18年度特別会計補正予算(案)について 平成19年度事業計画(案)について 平成19年度一般会計予算(案)について 平成19年度特別会計予算(案)について 在宅介護支援センターはるの廃止について 訪問看護ステーションはるの休止について 認知症対応型デイサービスはっさむはるの休止について 定款変更について 評議員の改選・理事の選任について

(4) 役員研修

開催日時	参加研修名	参加役員	人数
4/23	認知症高齢者の身体状態把握の仕方と看護のポイント	評議員	1
8/10~8/11	平成18年度 後志老人福祉施設協議会施設長会議	評議員	1
9/4~9/8	北海道看護協会 看護管理者研修会	評議員	1
9/9~9/10	東札幌病院看護課長・主任宿泊研修	評議員	1
3/16	平成18年度 後志老人福祉施設協議会総会	評議員	1
3/19	身体拘束廃止推進委員研修会(実践者研修)	評議員	1

(5) 広報活動事業

小樽	特養①	H18. 9月	広報誌「暖」10号発行
	デイ①	H18. 4月	広報誌「逢」
	②	H18. 8月	広報誌「逢」
	③	H18. 12月	広報誌「逢」(1) 広報活動事業
札幌	特養①	H19. 3月	広報誌「暖」10号発行
	デイ①	H18. 10月	広報誌「はあとふる」
	②	H18. 11月	広報誌「はあとふる」
	③	H18. 12月	広報誌「はあとふる」
	④	H19. 1月	広報誌「はあとふる」
	⑤	H19. 2月	広報誌「はあとふる」
	⑥	H19. 3月	広報誌「はあとふる」

(6) 監査等の実施

小樽 i) 平成 17 年度事業執行及び決算監査(法人監事)

平成 18 年 5 月 23 日 於特別養護老人ホームはる

ii) 平成 18 年度会計経理執行状況内部監査(法人監事)

平成 18 年 8 月 1 日 於特別養護老人ホームはる

III) 平成 18 年度介護保険施設等実地指導(訪問看護)(北海道後志支庁)

平成 18 年 10 月 26 日 於特別養護老人ホームはる

IV) 平成 18 年度会計経理行状況内部監査(法人監事)

平成 18 年 11 月 13 日 於特別養護老人ホームはる

V) 平成 18 年度介護保険施設等実地指導(北海道後志支庁)

平成 19 年 2 月 19・20 日 於特別養護老人ホームはっさむはる

VI) 平成 18 年度会計経理執行状況内部監査(法人監事)

平成 19 年 2 月 13 日 於特別養護老人ホームはる

発寒 i) 札幌中央労働基準監督署労働監督官による実地指導

平成 18 年 11 月 13 日 (月) 於特別養護老人ホームはっさむはる

ii) 平成 18 年度社会福祉施設指導監査(札幌市指導監査室)

平成 18 年 12 月 12 日 (火) 於特別養護老人ホームはっさむはる

地域交流事業

(1) 概況

特別養護老人ホーム・ケアハウス・グループホームの入居利用者は、昨年度に引き続き、市立赤岩保育所の保育園児との交流を活発に行った。

また、7月2日(日)、晴天下、特別養護老人ホームはる構内にて「はる夏まつり」を開催し、利用者、家族はじめ地域住民等約 600 人の参加を得た。

その他、市立北山中学校をはじめ各学校等との交流、施設見学及び藤女子大生をはじめ実習生の受入等を継続して行った。又、ボランティアグループ「あかり」においては独自の充実した活動が昨年度に引き続き、展開された。

(2) ボランティアグループ「あかり」の活動

年 度	登録人数	活動延総数	活動延時間	1日平均人数	1日平均活動時間
平成16年度①	28人	1,212人	4,876時間	3.3人	13.3時間
平成17年度②	21人	1,112人	4,819時間	3.0人	13.2時間
平成18年度③	16人	1,004人	4,319時間	2.7人	11.8時間
比較 ②-③	▲5人	▲892人	500時間	▲0.3人	▲1.4時間

主な活動内容

- ・月行事、喫茶など、施設行事のサポート
- ・紙芝居、ビデオ上映時等におけるサポート
- ・日常における入浴・食事等の介助
- ・利用者の衣服等修繕、作成のための裁縫等
- ・音楽療法時のサポート
- ・おしも拭きづくり
- ・話相手としてのサポート

(3) 実習生の受入

① 看護実習

学 校 名 等	実 習 内 容	実 習 場 所	期 間	人 数	
小樽看護専門学校	在宅看護実習	デイサービスセンターはる	H18.4.17-18	2日間	2名
			H18.4.20-21	2日間	2名
			H18.4.24-25	2日間	2名
		特別養護老人ホームはる	H18.4.19-21	3日間	2名
			H18.4.26-28	3日間	2名
			H18.5.17-19	3日間	2名

			H18.5.31-6.2	3日間	2
			H18.6.14-16	3日間	2
			H18.6.21-23	3日間	2
			H18.7.5-7	3日間	2
			H18.8.2-4	3日間	2
			H18.8.16-18	3日間	2
			H18.8.23-25	3日間	2
			H18.8.30-9.1	3日間	2
			H18.9.27-29	3日間	2
			H18.10.25-27	3日間	2
			H18.11.21-23	3日間	2
		訪問看護ステーションはる	H18.6.1-2	2日間	2
			H18.6.5-6	2日間	2
			H18.6.7,9	2日間	2
			H18.6.16	1日間	2
			H18.7.3-4	2日間	2
			H18.7.6-7	2日間	2
			H18.7.10-11	2日間	2
			H18.7.13-14	2日間	2
			H18.7.31-8.1	2日間	2
市立小樽病院高等看護学院	在宅看護実習	訪問看護ステーションはる	H18.4.17-20	4日間	2
			H18.4.24-27	4日間	2
			H18.5.8-11	4日間	2
			H18.5.15-18	4日間	2
			H18.6.12-15	4日間	1
			H18.6.19-22	4日間	2
			H18.7.18-21	4日間	1
		デイサービスセンターはる	H18.9.4-7	4日間	3
			H18.9.11-14	4日間	3
			H18.9.19-21	3日間	3
			H18.10.2-5	4日間	3
			H18.10.16-19	4日間	3
東亜大学学園付属看護学院	在宅看護論見学実習	訪問看護ステーションはる	H18.10.2-3	2日間	1
			H18.10.5-6	2日間	1

② ソーシャルワーカー実習

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
------	------	------	----	----

北星学園大学	ソーシャルワーク実習	特別養護老人ホームはる	H18.8. 7- 9.6	1名
			H19.3.12- 3.16	1
		デイサービスセンターはる	H18.8. 7- 9.6	1
藤女子大学	〃	デイサービスセンターはる	H18.5.15-11.17	8

③ ホームヘルパー実習

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
小樽双葉高校	ホームヘルパー2級実習	特別養護老人ホームはる	H18.7.24-8.18	20名
		デイサービスセンターはる	H18.7.24-8.18	20

④ 介護福祉士実習

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
NHK学園	介護福祉士実習	特別養護老人ホームはる	H18.9.11-9.23	1名

⑤ インターンシップ

学校名等	実習内容	実習場所	期間	人数
小樽工業高校	職業体験実習	特別養護老人ホームはる	H18.8.30-9.1	1名
小樽商業高校	職業体験実習	特別養護老人ホームはる	H18.10.3-5	2

(4) 施設見学等の受入

- ① 平成18年 6月27日(火) 北海道医療大学 1名
- ② 平成18年 7月11日(火) 市立小樽病院高等看護学院 30名
- ③ 平成18年 8月14日(月) 北星学園大学 1名
- ④ 平成18年 9月 9日(土) ビジネスプランナー受講者 8名
- ⑤ 平成18年10月17日(火) 中央幼稚園 30名
- ⑥ 平成19年 2月21日(水) 浅井学園大学 8名

3 職員会議

チームアプローチによる総合的ケアの推進と、部署及び職種間の緊密で円滑な連携を実現するため、必要な以下の会議を適宜開催し、職員相互の理解と情報の共有化を図った。

(1) 全施設

- 1) **朝礼** (総合施設長、施設長、介護職、看護職、栄養士、事務職等参加可能職員)
平日毎朝 8:30～ 10 分間 140回実施
- 2) **朝ミーティング** (総合施設長、施設長、介護職、看護職、栄養士、事務職等参加可能職員)
毎週水曜朝礼終了後 10 分間 12回実施
- 3) **運営定例会議** (総合施設長、施設長、各主任・主任補佐、他関係職員)
毎月第2・4火曜日 16:00～ 1 時間 6回実施
- 4) **職員全体会議** (全職種職員)
隔月1回 19:00～ 1 時間 2回実施
- 5) **給食会議** (施設長、栄養士、厨房調理師、委託先職員、他関係職員)
毎月20日頃 16:00～ 1 時間 4回実施

(2) 特別養護老人ホームはっさむはる

- 1) **リーダー会議** (施設長、介護主任、ユニットリーダー、他関係職員)
適宜随時 10回実施
- 2) **入所判定会議** (総合施設長、施設長、各主任、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、第三者委員)
適宜随時 15回実施
(入居判定基準に基づく判定会議：13回、特例入所・繰上入所判定会議：2回)
- 3) **ユニットケアカンファレンス** (施設長、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、他関係職員)
適宜随時 29回実施
- 4) **学習委員会** (学習委員会メンバー)
適宜随時 4回実施
- 5) **感染症対策委員会** (感染防止委員会メンバー)
毎月第3火曜日 17:00～ 1 時間 4回実施
- 6) **行事委員会** (行事委員会メンバー)
適宜随時 1回実施
- 7) **業務委員会** (業務委員会メンバー)
適宜随時 3回実施
- 8) **事故防止委員会** (事故防止委員会メンバー)
毎月第2木曜日 5回実施
- 9) **ボランティアサポート委員会** (ボランティアサポート委員会メンバー)
適宜随時 4回実施

(3) デイサービスセンターはっさむはる

- 1) **朝・夕ミーティング**（管理者、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、他関係職員）
毎日 8:35~5分間 17:15~15分間 296回実施
- 2) **新規利用判定会議**（管理者、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、他関係職員）
適宜随時 30回実施
- 3) **ケアカンファレンス**（管理者、介護職、看護職、ソーシャルワーカー、他関係職員）
毎月第2・4水曜日 6回実施
- 4) **行事会議**（介護職、看護職、ソーシャルワーカー）
毎月1回程度 6回実施

(4) 居宅介護支援事業所はっさむ「はる」

- 1) **朝・夕ミーティング**（管理者、ケアマネージャー）
毎日 8:40~9:00 16:30~17:00 412回実施
- 2) **会議**（管理者、ケアマネージャー）
毎月第1火曜日 2回実施

デイサービスセンターはっさむ はる

(1)概況

平成18年9月に、定員20名の通所介護(介護予防通所介護)事業所を新規開設、同年10月には、定員10名の認知症対応型通所介護(介護予防認知症対応型通所介護)事業所を新規開設している。

開設当初は、新規利用の問い合わせが少なく、利用人数増加のために、周辺の居宅介護支援事業所への案内等を行なうが、通所介護事業を併設している事業所も多く、十分な効果が得られたとはいえない状況であった。その後も、通常の事業実施地域(送迎範囲)の拡大や、居宅介護支援事業所への広報誌等の送付により、レクリエーション等の事業所のサービス内容の情報提供に努めている。また、契約前のおためし利用も開設当初より実施しており、おためし利用実施者の約9割が正式な利用につながり、平成19年3月現在で、稼働率が約70%となっている。

認知症対応型通所介護事業については、居宅介護支援事業所からの新規利用の問い合わせも少なく、利用人数も1名前後の状態が継続していた。その後も、利用者の施設入所・入院等により利用中止があり、利用人数増加の可能性も低いと判断し、平成19年2月末で事業を休止し、利用者については、ご本人・ご家族、ケアマネジャーの意向を確認の上、通所介護へ変更して継続利用できるよう対応している。

現在、西区内には通所介護・通所リハビリテーション事業所が30ヶ所以上あり、地域のニーズに応え、利用人数を増加させていくためには、サービス内容の質を向上させ、事業所の特色を打ち出して行くことが重要な課題である。

(2)月・介護度別利用状況

①通所介護(通常規模型)

月	実施 日数	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実利用 人数計	延利用 人数計	1人平均 月利用 日数	1日平均 利用 人数	平均 介護度
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数					
4	日																			
5																				
6																				
7																				
8																				
9	21	1	3	1	4	5	32	1	1	2	6	0	0	0	0	9	46	5.1	2.2	
10	22	2	11	3	16	8	48	4	14	3	12	0	0	0	0	18	101	5.6	4.6	
11	22	2	12	5	26	16	80	4	15	2	9	2	6	0	0	29	148	5.1	6.7	
12	21	3	16	7	32	15	89	6	31	3	17	2	5	0	0	33	190	5.8	9.0	
1	20	3	14	8	33	17	84	11	41	4	16	2	12	0	0	42	200	4.8	10.0	
2	20	3	10	11	54	16	98	13	70	5	27	3	19	0	0	48	278	5.8	13.9	
3	22	3	10	12	54	15	86	16	98	4	24	8	32	0	0	55	304	5.5	13.8	
合計	148	17	76	47	219	92	517	55	270	23	111	17	74	0	0	234	1,267	5.4	8.6	1.68
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
H17年度		7	6	20.1	17.3	39.3	40.8	23.5	21.3	9.8	8.8	7.3	5.8	0.0	0.0	100.0	100.0			
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

※平均要介護度は、要支援1=0.375、要支援2=1、要介護1=1、要介護2=2...として計算。

②認知症対応型通所介護

月	実施 日数	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実利用 人数計	延利用 人数計	1人平均 月利用 日数	1日平均 利用 人数	平均 介護度
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数					
4	日																			
5																				
6																				
7																				
8																				
9	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
10	22	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	1	3	0	0	3	6	2.0	0.3	
11	22	0	0	0	0	0	0	1	3	2	5	2	6	0	0	5	14	2.8	0.6	
12	21	0	0	0	0	0	0	1	5	2	6	2	7	0	0	5	18	3.6	0.9	
1	20	0	0	0	0	0	0	1	4	2	4	2	9	0	0	5	17	3.4	0.9	
2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	5	0	0	3	8	2.7	0.4	
3																				
合計	126	0	0	0	0	1	1	3	12	8	20	9	30	0	0	21	63	3.0	0.5	3.19
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
H17年度		0	0	0.0	0.0	0.4	0.1	1.3	0.9	3.4	1.6	3.8	2.4	0.0	0.0	9.0	5.0			
構成比		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

*注 ①・②いずれも平均介護度は、実人数ベースで、「要支援」を0.5として計算した。

(3)おためし利用の利用状況

月	平成17年度				平成18年度			
	実利用 人数計	延利用 日数計	1人平 均月利 用日数	うち 未利用 件数	実利用 人数計	延利用 日数計	1人平 均月利 用日数	うち 未利用 件数
4	/	/	/	/	/	/	/	/
5	/	/	/	/	/	/	/	/
6	/	/	/	/	/	/	/	/
7	/	/	/	/	/	/	/	/
8	/	/	/	/	/	/	/	/
9	/	/	/	/	5	5	1.0	0
10	/	/	/	/	14	14	1.0	2
11	/	/	/	/	13	13	1.0	0
12	/	/	/	/	3	3	1.0	2
1	/	/	/	/	9	9	1.0	0
2	/	/	/	/	6	6	1.0	1
3	/	/	/	/	2	2	0.0	0
合計	/	/	/	/	52	52	1.0	5

(4)月別利用人数年度比較

①通所介護(通常規模型) 前年度比較

月	利用状況								増減			
	平成17年度				平成18年度							
	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日
4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
8	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
9	/	/	/	/	21	9	43	2.0	/	/	/	/
10	/	/	/	/	22	18	90	4.1	/	/	/	/
11	/	/	/	/	22	29	136	6.2	/	/	/	/
12	/	/	/	/	21	33	174	8.3	/	/	/	/
1	/	/	/	/	20	42	186	9.3	/	/	/	/
2	/	/	/	/	20	48	268	13.4	/	/	/	/
3	/	/	/	/	22	55	294	13.4	/	/	/	/
合計	/	/	/	/	148	234	1,191	8.0	/	/	/	/

②認知症対応型通所介護 前年度比較

月	利用状況								増減			
	平成17年度				平成18年度							
	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日	実施 日	実人数 人	延人数 人	日平均 人/日
4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
8	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
9	/	/	/	/	21	0	0	0.0	/	/	/	/
10	/	/	/	/	22	3	6	0.3	/	/	/	/
11	/	/	/	/	22	5	14	0.6	/	/	/	/
12	/	/	/	/	21	5	18	0.9	/	/	/	/
1	/	/	/	/	20	5	17	0.9	/	/	/	/
2	/	/	/	/	20	3	8	0.4	/	/	/	/
3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計	/	/	/	/	126	21	63	0.5	/	/	/	/

(5) 月別利用料請求内訳
 ① 通所介護(通常規模型)

月	利用料(利用者負担金)					合計
	利用者負担	自費請求	食材料費	紙おむつ代	クラブ活動費	
4						
5						
6						
7						
8						
9	34,438	0	27,600	120	0	62,158
10	76,532	0	60,600	30	0	137,162
11	113,382	0	88,800	0	0	202,182
12	156,786	0	114,000	0	0	270,786
1	169,886	0	123,600	310	0	293,796
2	232,780	0	166,800	760	0	400,340
3	253,673	0	180,000	360	0	434,033
合計	1,037,477	0	761,400	1,580	0	1,800,457
1人1回 当り平均	819	0	601	希望者のみ	希望者のみ	1,421
H16年度						
1人1回 当り平均				希望者のみ	希望者のみ	

② 認知症対応型通所介護

月	利用料(利用者負担金)					合計
	利用者負担	自費請求	食材料費	紙おむつ代	クラブ活動費	
4						
5						
6						
7						
8						
9	0	0	0	0	0	0
10	5,591	0	3,600	0	0	9,191
11	15,942	0	7,200	0	0	23,142
12	19,726	0	9,000	0	0	28,726
1	19,301	0	7,800	280	0	27,381
2	9,471	0	3,600	430	0	13,501
3						0
合計	70,031	0	31,200	710	0	101,941
1人1回 当り平均	1,112	0	495	希望者のみ	希望者のみ	1,618
H16年度						
1人1回 当り平均				希望者のみ	希望者のみ	

(6)地域別登録者状況

(平成19年3月31日現在)

地域	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計
西区発寒	2	8	8	9	1	3		31
西区八軒			4	4	1	2		11
西区琴似		2			1			3
西区西野			2	2				4
西区西町南			1		1			2
手稲区新発寒			1	1				2
中央区宮の森			1					1
中央区北1条				1				1
								0
合計	2	10	17	17	4	5	0	55

(21)インシデント分析

インシデント項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
転倒						13	6	7	3	9	10	9	57
転落						1	6	2	2	3	1	3	18
ずり落ち						1	1	1	1	2	2	3	11
小計	0	0	0	0	0	15	13	10	6	14	13	15	86
誤嚥							2	3	1	1			7
異食										2	2	1	5
器物破損							5		1			3	9
外傷							4	2	1		1	5	13
誤薬								1			1		2
投薬忘れ						8	7	3	4	2	2	1	27
待たせる													0
Rt間のトラブル							1	1	1				3
その他						2	8	3	3		5	6	27
合計	0	0	0	0	0	25	40	23	17	19	24	31	179

(22) 転倒・転落・ずり落ちの分析(項目・区分別)

項目	区分	転倒	転落	ずり落ち
A D L	J-1			
	J-2			
	A-1	24	1	
	A-2	7		1
	B-1	18	3	6
	B-2	10	14	4
	C-1			
	C-2			
	自立			
	小計	59	18	11
痴 呆 度	なし			
	I	8	1	
	II a			
	II b	22	5	4
	III a	6	8	2
	III b			
	IV	19	4	4
	M	2		1
	小計	57	18	11
場 所	居室	28	12	5
	リビング	15	6	5
	キッチン			
	トイレ	7		1
	浴室	2		
	ユニット外	3		
	その他	2		
		小計	57	18
眠 剤	有	37	10	6
	無	20	8	5
	合計	57	18	11

2 職員状況

(1)職員の採用・退職概況

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
前年度			人			人			人	人	人	人
本年度	53人	21人	74人	5人	19人	24人	3人	7人	10人	55人	33人	88人
比較	53人	21人	74人	5人	19人	24人	3人	7人	10人	55人	33人	88人

(2)職員の配置状況(平成19年3月31日現在)

区分	管理者		医師		相談員		介護職員		看護職員		その他職員		合計		
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
特養	正職員	1人	1人			1人	1人	30人	1人	4人	1人	7人	3人	43人	7人
	臨時職員			1人				31人				人		32人	人
	計	1人	1人	1人	人	1人	1人	61人	1人	4人	1人	7人	3人	75人	7人
通所介護	正職員		1人			2人	1人	1人	1人	1人	1人		1人	4人	5人
	臨時職員				人			2人						2人	人
	計	人	1人	人	人	2人	1人	3人	1人	1人	1人	人	1人	6人	5人
居宅支援所	正職員		1人									1人		1人	1人
	臨時職員													人	人
	計	人	1人	人	人	人	人	人	人	人	人	1人	人	1人	1人
合計	正職員	1人	3人	人	人	3人	2人	31人	2人	5人	2人	8人	4人	48人	13人
	臨時職員	人	人	1人	人	人	人	33人	人	人	人	人	人	34人	人
	計	1人	3人	1人	人	3人	2人	64人	2人	5人	2人	8人	4人	82人	13人

(3)職員の有資格状況(平成19年3月31日現在)

資格名	正職	臨職	計	資格名	正職	臨職	計
医師	人	1人	1人	管理栄養士	2人	人	2人
保健師	人	人	人	栄養士	人	人	人
助産師	人	人	人	理学療法士	1人	人	1人
看護師	6人	人	6人	作業療法士	人	人	人
准看護師	1人	人	1人	言語聴覚士	人	人	人
介護福祉士	34人	7人	41人	介護支援専門員	6人	2人	8人
社会福祉士	3人	人	3人	計	53人	10人	63人

(4)職員の給与支給状況(平成19年3月31日現在)

区分	正職数	臨職数	職員俸給	職員諸手当	退職共済掛金	法定福利費	非常勤職員給与	合計
特養ホーム	55.0	32	61,855,020円	49,748,196円	-	17,370,057円	19,508,382円	148,481,655円
デイサービス	6.0	2	7,271,600円	5,674,163円	-	1,949,809円	4,090,390円	18,985,962円
居宅支援事業所	2.0	0	3,559,100円	3,295,924円	-	668,445円	円	7,523,469円
計	63人	34人	72,685,720円	58,718,283円	円	19,988,311円	23,598,772円	174,991,086円
職員一人当たり平均			1,153,742円	932,036円	円	317,275円	694,082円	

(23) 入所者痴呆度状況(18年度末現在)

区分	痴呆なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
男	1	0	1	9	9	2	2	0	24
女	4	9	4	12	13	5	8	2	57
計	5	9	5	21	22	7	10	2	81

(24) 年度末在籍入所者家族状況別面会状況

区分		面会状況						計
		ほぼ毎日	週1回以上 5回未満	月1回以上 4回未満	年6回以上 12回未満	面会なし	該当者なし	
男	配偶者の面会			6	3	6	11	26
	子・子の配偶者の面会		9	5	5	4	3	26
	親族の面会			3	8	15		26
	その他の方の面会				6	20		26
	計	0	9	14	22	45	14	104
女	配偶者の面会		1	2	1	5	50	59
	子・子の配偶者の面会	1	24	18	10	1	5	59
	親族の面会		1	10	25	23		59
	その他の方の面会			1	18	40		59
	計	1	26	31	54	69	55	236
合計	配偶者の面会	0	1	8	4	11	61	85
	子・子の配偶者の面会	1	33	23	15	5	8	85
	親族の面会	0	1	13	33	38	0	85
	その他の方の面会	0	0	1	24	60	0	85
	計	1	35	45	76	114	69	340

5 苦情受付状況

特別養護老人ホーム(3件)

受付年月日	申立人	苦情内容	対応状況等
18.10.13	本人・娘	<p>昼食後のトイレ誘導時に、「ちょっと待ってて」と言われ長い間ほっとかかれたことに対し、機嫌直らず夕食を欠食された。また、「ごはん食べないなら自分でお盆下げて。」「オムツしてるからすればいいしょ。」と言われたと本人より苦情ある。ユニットリーダーが本人に事実確認中にご家族の来所があり、この旨を伝える。ご家族より「ちょっと気にはなっていました、父にはお世話になっているんだから謙虚にし、我慢しなさいと言ったが、正直、私も面会時に職員の対応や雰囲気嫌な感じを受けることがありました。」とお話ある。本人は全盲であるが、声や雰囲気嫌な職員を判断(特定)しており、特定の職員名が出されている。また、ご家族が嫌な印象を受ける職員とも一致していた。</p>	<p>10月15日に介護主任より本人に事実確認を行う。その際、該当すると思われる職員が今月末で退職予定である旨も伝えた。ご家族からは「その人が気持ちよく辞められるよう、何もしないで下さい。」と申し出ある。事実確認の結果、該当すると思われる職員以外でも、本人に対するコミュニケーションのとり方に問題があったことが分かった。(例、職員は冗談のつもりで「食べないならそのまま後で自分でさげてね。」と言った会話など)また、本人・ご家族から該当すると思われる職員に事実確認したところ、優先順位で対応が遅れたことは事実。「おむつでして。」とは決して言っていない、とのこと。この苦情については、今回の対応のみが問われているわけではなく、日頃からの対応に配慮が足りなかったことで、他の職員が対応した事であっても、矛先が当該職員一人に向かい苦情となってしまったことと判断する。ユニット職員全体に対し、介護主任より口頭指導を行なった。再度、本人・ご家族に事実確認の結果を伝え、謝罪を行なう。</p>
18.12.6	本人	<p>本人が何かしたほうが良いと思って、自主リハビリとして歩いたが、PTから「1人で行なわないように。」と言われたと苦情ある。ご家族には面会時に報告する。「努力家なので常に上を目指す人です。出来るだけリハビリは受けさせたい。」とのご要望をいただく。</p>	<p>不安定な歩行の為、危険性を考えて1人での歩行訓練を禁止した。「1人で絶対に歩かない」ことを強調するのではなく、「少しの時間でも安全に歩けるように」を強調し、PT以外にCWにも歩行訓練の介助が行なえるかを相談する。短時間でPTの指導の下、歩行訓練の介助は行なえるとなる。しかし、ご本人は「やらない。」とこのことで、様子を見ることにした。</p>
19.1.5	長女	<p>11月7日、ユニット内トイレで転倒しているところを発見し、痛みがあるため受診した結果、筋肉痛とのことで、筋力低下しない為に積極的に歩行させて良い指示のもと、過ごしていたが、12月になっても痛みがあり、ご家族の希望により他病院受診したところ、右大腿骨頸部骨折が判明し、緊急入院となった。この経緯にて、「専門職がそろっている施設で、何故このことを速く発見できなかったのか?」と施設の今後の対応について、在宅時に契約していたケアマネジャーとともに施設に対しての不満を話される。</p>	<p>事故防止マニュアルや金銭的な保障についての問い合わせに対しては、現在検討中であることと、傷害保険の手続きを進めることを説明する。専門職がいながら骨折の疑いを見逃したことについては、受診した医師の指示の元であり、本人に痛い思いを長くさせてしまったことについては申し訳ない、と謝罪する。⇒札幌市介護保険課に事故報告を行う。</p>

4 職員研修

職員の資質向上、専門的知識の習得を目的として、以下の外部研修に積極的に参加し施設内においても以下のとおり自主研修を開催した。

(1)施設外研修

開催年月日	研修内容	参加職種	参加人数
【ホーム】			
10/23	退職手当共済制度実務研修会	事務員	2
11/16	社会保険新規適用事業所事務説明会	事務員	1
11/30～12/5	介護支援専門員実務従事者基礎研修	看護師	1
12/4～12/6	第13回ユニットリーダー研修北海道ブロック	ケアワーカー	2
1/23	施設で使える認知症高齢者のためのアクティビティ研修会	理学療法士	1
1/29～2/2	ユニットリーダー実地研修	ケアワーカー	1
2/19～2/23	ユニットリーダー実地研修	ケアワーカー	1
【デイサービス】			
9/21	認知症の人を正しく理解する研修会	ケアワーカー	1
11/20	第3回認知症対応型サービス事業管理者研修	ソーシャルワーカー	1
1/23	施設で使える認知症高齢者のためのアクティビティ研修会	ケアワーカー	1
1/23	平成18年度北海道デイサービス施設長研修	看護師・ケアワーカー	2
【居宅介護支援事業所】			
7/19	札幌市新予防給付ケアマネジメント研修	ケアマネージャー	1
9/28	平成18年度札幌市ケアプラン指導研修会(第1回)	ケアマネージャー	2
12/5	市民のためのケアマネフォーラム	ケアマネージャー	2
2/6	平成18年度介護保険施設講演会	ケアマネージャー	1

1 総 括

平成 18 年度は、9 月にかねてより計画を進めてきた特別養護老人ホームはっさむはるを計画通りに開設し、近隣住民・各団体・同業施設・居宅事業所等の見学会を行い広く認知していただきより地域密着型の施設となるよう努めた。特養は入所定員 80 名を満床にするまでに多少時間は要したが現在はずでに待機者が 150 名ほどいる状況となっております。短期入所生活介護（ショートステイ）は、特養の入居状況が落ち着いた段階での受け入れだったため、当初は思うように稼働を上げることが出来ずにいたが現在は、2 ユニット（定員 20 名）を開放しリピーターも増え徐々に稼働を上げてきている。通所介護事業（デイサービス）は、認知症専用型デイサービスを休止し併設型デイサービスの稼働を上げる努力をしているが、近隣既存事業所との競合や、介護予防への移行によるデイサービス利用者の減少などで、苦戦をしているが居宅介護事業所等への働きかけの強化をし新規獲得の努力を続けていく。こうした結果、当初計画していた稼働には及ばず課題を残す結果となった。今後、施設運営においての適正人員配置の見直しや組織体制の強化・施設内研修の充実や外部研修の参加機会を増やすなど職員の知識・技術・サービスの質の向上を目指し運営の効率化を図り、より充実した施設になるよう努め入居者・利用者が安心して楽しく過ごしていただける施設運営を目指し努力する。また、新型のユニット特養ということで札幌市市議会議員の厚生委員の施設視察や、今後ユニット型特養の整備を計画している法人等の見学及び研修・札幌市の新規採用職員の体験研修などの依頼もあり積極的に受け入れ、社会貢献・地域福祉の向上に努めた。

利用状況については各事業別事業報告に詳細を記述しているが、施設サービス事業については、特別養護老人ホームの延利用人数が 14,167 人、居宅サービス事業では短期入所生活介護（ショートステイ）の延利用人数が 769 人、通所介護事業（デイサービス）では合計延利用人数で 1,267 人、居宅介護支援事業所の給付管理件数が 187 件であった。

来年度にむけて、家族懇談会の定期開催等で家族との関わりや意見交換による信頼関係の構築、季節ごとの行事・イベント・地域交流などの実施・また、当年度もボランティアの受け入れに力を入れてきたが今後も施設独自のボランティアグループの立ち上げを目指し、趣味活動やボランティアさんとの関わりにより入居者・利用者の日常生活の活性化を図り、日々楽しくより充実した生活が出来るよう努める。

指定居宅介護支援事業所はっさむ はる

(1)概況

平成18年6月より、ケアマネジャー2名の体制で、居宅介護支援事業所を開設している。開設当初は、地域の関係機関(病院・居宅サービス事業所等)への訪問等を行ない、利用者数の増加を図るが、わずかな増加にとどまっていた。その後、平成18年9月のはっさむ はるの開設に伴い、病院からの新規利用の問い合わせや、デイサービスの利用希望と併せた新規利用の申込など、徐々に利用者数が増加している。しかし、平成19年3月末現在、事業所全体での給付管理件数上限の約49件(ケアマネジャー1.4名分)に対して、居宅介護支援の給付管理件数が27件と、稼働率が60%弱にとどまっている。相談経路としては、事業所への直接の問い合わせに比べて、病院や他居宅介護支援事業所からの紹介・変更が多くなっている。

今後は、適切な居宅介護支援業務を行ない、関係機関との連携を図ることで信頼関係を構築し、利用者数の増加に努めるとともに、地域の相談窓口として、事業所の活動・役割を広く知っていただくような活動に努める必要がある。

また、ケアマネジメント能力の研鑽に努め、支援困難ケースや介護予防支援業務についても、積極的に対応していくことも必要である。

(2)事業内容

①要介護度別給付管理状況および月末契約者数

月	平成17年度									平成18年度									給付管理 件数 前年	
	給付管理件数								月末 契約者数	給付管理件数(要支援者は予防支援業務委託件数)								月末 契約者数		
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計			
4月																			0	
5月																			0	
6月															1		1	2	3	
7月													1	1	1		1	4	5	
8月													2	1	2		1	6	9	
9月												1	3	1	3		1	9	13	
10月												2	9	4	4	1	1	21	23	
11月												3	12	5	3	2		25	30	
12月												3	13	6	5	2		29	32	
1月												3	15	6	5	2		31	34	
2月												3	13	7	4	3		30	36	
3月												3	11	9	2	5		30	37	
合計												0	18	79	40	30	15	5	187	
構成比	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	0.0	9.6	42.2	21.4	16.0	8.0	2.7	100.0		

②保険者別給付管理状況

月	札幌市										札幌 市外	合計	札幌市外の内訳
	西区	手稲区	中央区	北区	東区	豊平区	白石区	南区	清田区	厚別区			
4月													
5月													
6月	1	1										2	
7月	1	2									1	4	岩見沢市1名
8月	1	4									1	6	岩見沢市1名
9月	4	4									1	9	岩見沢市1名
10月	8	11									2	21	岩見沢市・芦別市1名
11月	13	10									2	25	岩見沢市・芦別市1名
12月	15	12									2	29	岩見沢市・芦別市1名
1月	17	13									1	31	岩見沢市1名
2月	15	14									1	30	岩見沢市1名
3月	16	13									1	30	岩見沢市1名
合計	91	84	0	0	0	0	0	0	0	0	12	187	

③相談経路別利用者状況(平成19年3月末現在)

	居宅介護支援	介護予防支援委託	合計
ご本人・ご家族から事業所への直接の問い合わせ	6	1	7
病院から当事業所への紹介	13		13
他居宅介護支援事業所からの変更	10		10
包括支援センターからの変更・依頼	1	2	3
その他関係機関からの紹介	3	1	4
合計	33	4	37